

「彩の国21世紀郷土かるた」県大会出場！

3月10日、戸田市スポーツセンターにおいて、第37回彩の国21世紀郷土かるた県大会が開催されました。小川町からは団体3チーム・個人3人が出場し、56市町村、団体120チーム・個人120人、総勢約600人で激戦が繰り広げられました。

小川町は健闘の結果、個人戦で児玉晶琉さん（みどりが丘小学校）、団体戦で上村勇斗さん、國保侑希さん、木村音葉さん、上村みちるさん（小川小学校・キングトリプルKチーム）が予選を通過し、決勝トーナメントに進みましたが、個人戦はベスト40、団体戦はベスト32まで勝ち進みました。



小川町子ども会連絡協議会寄稿

小川町老人クラブ連合会 単位クラブ役員日帰り研修旅行

3月5日、各単位クラブの会長・女性部長・役員55人で日帰り研修に行きました。豊洲市場水産卸売場・築地場外市場ではマグロの競りが行われる場所を見学し、たばこ塩の博物館ではたばこの歴史・岩塩の彫刻等を学びました。会員相互のコミュニケーションと親睦が図られ、有意義な研修となりました。

老人クラブ連合会会長 海野四郎さん寄稿



「小川町ひばり台地区連絡協議会（通称：OHR）」が道路清掃を実施！



昨年10月にひばり台地区で操業している企業（事業者）6社で発足した組織「小川町ひばり台地区連絡協議会」通称OHRの従業員約15人が、3月15日に、ホンダ小川エンジン工場を起点として東武竹沢駅までの区間を2班に分けて歩道のごみ拾いを行いました。参加した社員の1人からは「歩道や植え込みの中など、小さなごみから大きなごみまで思ったより多くのごみが落ちていて、驚きました」。また、会長の圓山氏（本田技研工業株）は、「このような事業を継続的に実施し、地域社会の一員として地域に貢献していきたい」と話していました。OHRでは年3回、このような道路清掃を行う他、竹沢地区と連携して交通安全運動等にも協力をしていく予定です。

埼玉県国保協議会表彰

3月15日、さいたま市内の国保会館において開催された平成30年度埼玉県国保協議会総会で、国民健康保険事業の進展に功績顕著な方々への表彰式が行われ、小川町国民健康保険運営協議会会長の瀬川豊氏が表彰されました。



埼玉県空き店舗ゼロリノベーションコンペ最優秀賞受賞

「有機野菜食堂 わらしべ」による、明治21年に建築された旧養蚕技術伝習所「玉成舎」の再生活用プロジェクトが、商店街におけるにぎわいの創出や地域のブランディングを高め、更なる空き店舗等の活用につながる事業として、県のコンペにより最優秀賞を受賞しました。

玉成舎は商業複合施設になっており、有機野菜食堂の他、地ワインの角打ち酒屋、雑貨店などとして活用されています。

オーナーの山下さん（わらしべ店主）は、「みんなで作る玉成舎」の掛け声のもと、沢山の方々のお力をお借りして進んでまいりました。この受賞はみんなで喜べる。みんなのものです。」と語っていました。

明治から令和へ130年の時を紡いできた建物。誰もが懐かしく感じる時がここにあります。



GYOKUSEISHA

有機野菜食堂 わらしべ
☎ 74-3013

第21回 武蔵の小京都おがわを描く展が開催されました！

第21回 武蔵の小京都おがわを描く展が2月17日から3月3日まで埼玉伝統工芸会館で開催され、3月3日に表彰式が行われました。

今年度は一般115点、小・中学生64点の出品がありました。賞は審査員選出によるおがわ大賞、来場者の投票によるおがわ賞、後援者選出による後援者賞の全13部門です。受賞者は次のとおりです。

（敬称略）

小京都おがわ大賞
和紙のふるさと（町長）賞
笠山（議長）賞
槻川（教育長）賞
おおむらさき（観光協会）賞
樺（埼玉伝統工芸会館）賞
マナビィ（おがわ文化会）賞
亜露麻賞
ホルベイン賞（一般の部）
ホルベイン賞（一般の部）
ホルベイン賞（学生の部）
おがわ賞（一般）

曾根 カナエ
栗原 敏雄
桜井 京子
丸山 幸男
柳 美佑
青木 眞一
岡部 香絵
杉山 正栄
金山 敏
中谷 小雪
関根 颯大

おがわ賞（小学生）
おがわ賞（中学生）

吉田 勝、関口 修、吉野 富美夫、宮崎 慎二郎、田幡 美佐男、
飯野 和男、甲田 栄司、高木 登
藤間 一夏、尾島 原平
阿部 陸人、山崎 良太



問合せ 生涯学習課 生涯学習担当 ☎ 292